

日本共産党松江市委員会機関紙

# 新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

## 11月定例市議会 吉儀市議が代表質問 市長の政治姿勢を問う

### 憲法・美保基地・地域医療問題を問う

#### 吉儀敬子市議の代表質問①

11月市議会の代表質問は、12月2日に、日本共産党市議団を代表して吉儀敬子市議が、

市長の政治姿勢として、憲法・美保基地・地域医療問題を取り上げました。

#### 全国首長9条の会

11月17日、全国の現職13人を含む131人が呼びかけ人となつて「全国首長9条の会」が結成され、吉儀市議は、呼びかけ人の一人として松江市が姉妹都市との関係にある宝塚市の中川智子市長の声を紹介しました。

中川市長は「2015年の



代表質問を行う吉儀敬子市議

安保健制に反対を表明した。市民の命を守るために勇気を出して声を上げる」と発言。「松浦市長も『全国首長9条の会』に所属して、憲法改悪の動きに歯止めをかけるべき」との吉儀市議の質問に、松浦市長は「必要性も含め各政党間で議論すべき」と答弁しました。

#### 米軍と共同使用できる美保基地

美保基地には、来年度から

空中給油機が3機配備予定です。2007年に、美保基地は日米地位協定により米軍が美保基地を使用できることになっており、米軍への給油も可能です。吉儀市議は、市長に国に対して空中給油機配備の中止と、日米地位協定の見直しを求めるべきではないかと質問しました。

吉儀市議は、厚生労働省が公立・公的病院のベット数を減らすために424の病院名を一方的に公表した問題を取り上げました。松江市内でも、整形外科と呼吸器専門の診療科のある2病院が公表されました、必要な病院であり、国に公表リストの撤回を求めるよう質問しました。

#### 国道432号工事について県と懇談 日本共産党大庭支部

日本共産党大庭支部（高取謙次支部長）は、かねてより国道432号の歩道整備等を県に対して要望し、溝蓋の整備等一部の要望は実現しました。

バイパス工事の進捗とともに、11月15日には、尾村利成県議の尽力で大庭支部と県土整備事務所との懇談が実現しました。吉儀敬子市議も同席しました。

### いつまでも語り継ぐ 忘れないでいようね 第31回 戦争体験を語り継ぐ集い

12月7日、県民会館に31回目の「戦争体験を語り継ぐ集い」が150名の参加で開

催。松江保健生協・新婦人・松江民商・県教組・生協しまねが構成団体です。



西尾幸子さんも出演された朗読劇

「集い」は、一部が細田暢三（まさみ）さん（90歳）と加納佳代子さん（加納莞菫の娘）の対談。細田さんは、広瀬町出身。14歳で陸軍少年飛行兵にあこがれ志願。最後は盛岡に派遣された時、終戦を迎え「軍隊は任務を自ら志願するように仕向けられる。平和は黙っていてもはついてこない」という細田さんの言葉を、対談者の加納さんが巧みに引



地図を広げて説明を受ける

き出し、参加者に大きな感動を与えました。

第二部は、広島高女1年生（12から13歳）であった西尾幸子さん（87歳）の同級生23人は、8月6日に建物疎開の作業中被爆し全員死亡。疎開して助かった西尾さんが、平和の語り部としての人生を歩む中で、若い人たちが朗読劇としての活動をスタート。

当日は、朗読劇が披露され、確実に平和のバトンが引き継がれていることを実感する集いでした。